

2024

6月

患サポ通信

— ささえちゃん便り —

第 122 号



多様な SOGI (Sexual Orientation & Gender Identity) を有する患者様の外来・入院対応について

当院に来院される患者様の多様な性的指向や性自認に対応するため、各患者様の状況に応じ、その都度必要な対応を行ってまいりました。

LGBTQや性的マイノリティの方々を含むすべての患者様が安心して医療を受けることができるよう、それまでの当院での対応を元に、全国の大学病院への照会結果や、福島県(担当:男女共生課)が令和5年1月に作成した「多様な性に関する職員ハンドブック」※を参考に、昨年、当センターにおいて標準的な対応を検討しました。

以下のとおり院内に共有したところです。

※ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/tayounasei-handbook.html>

1 外来対応

- ◆ 患者からの申出があった場合は、可能な範囲で配慮する。
- ◆ 本人確認は、本人の希望する氏名(通称等)ではなく、戸籍上の氏名、生年月日、住所等他の事項で確認することとし、性別による確認に固執しない。
- ◆ 窓口等で呼び出す際は、フルネームではなく名字だけ、または受付番号で呼ぶ等、周囲の人に性別が分からないように配慮する。
- ◆ 診察中は、通常の患者と同様に、プライバシーの保護に努める。
- ◆ 家族について尋ねる際、性別や関係性を決めつけるような表現は避ける。

2 入院対応

- ◆ 患者の意向を尊重、配慮するとともに、共同生活であることを念頭に、他の患者の療養環境にも十分配慮する。
- ◆ 患者の入院にあたっては、次について十分に説明し、同意を得たことを確認した上で、入院手続きを行う。

ア 病室

- 原則として、個室利用とし、個室料金を徴収する。
- 個室の空きがない場合または同意を得られない等の事由により一般病室を使用する場合の部屋の区分については、原則として、戸籍上の性別によるものとする。ただし、同室の患者の了解を得られた場合は、戸籍上の性別によることなく、患者が希望する部屋を使用する。

イ トイレ

- 一般病室を使用する患者が病棟内のトイレを使用する場合は、原則として、みんなのトイレ(車椅子用トイレ)を使用してもらう。

しかしながら、実際に運用していく中で様々な質問や意見が寄せられ、本対応についても、随時見直ししていく必要があると考えております。

そのため、多様な性的指向・性自認に関して医療者が配慮できること、医療機関として今後目指すべき望ましい姿について考えるための研修会を、裏面のとおりに開催することとしております。

地域医療機関の皆様にもご案内しておりますので、ぜひ当センターへお問合せ願います。

患者サポートセンター



福島県立医科大学附属病院

医療者のための LGBTQ+入門

LGBTQ+に関する基礎知識と、
多様な性的指向・性自認に関して医療者が配慮できること、
医療機関として今後目指すべき望ましい姿について考える研修です。
医療者に限らず、興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。



日時

令和6年7月24日(水)
16:00~17:15

場所

福島県立医科大学 講堂

講師と会場をZOOMで結ぶ
オンライン講演となっておりますので
当日は会場へお越し願います。

講師

一般社団法人にじいろドクターズ理事
川崎協同病院総合診療科科長

吉田 絵理子 氏

2003年京都大学理学部卒業後、
大阪大学医学部に学士編入。07年卒業。
川崎協同病院での初期研修、
聖隷三方原病院で後期研修ののち、
川崎協同病院総合診療科にて勤務。
プライマリ・ケアに従事する医師
で立ち上げたにじいろドクターズでは、
に医療従事者を対象に性の多様性と
医療に関する学びの場などを提供。

問合せ先

福島県立医科大学附属病院
患者サポートセンター

電話 024-547-1818
FAX 024-547-1242

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1885(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp